

あなたはあなたのままで・・・。

村上市立村上第一中学校三年 富樫 あゆみ

人には人の個性があります。個性とはその人の特色のことです。個性のおかげで何か得るものもあれば、嫌な目にあうこともあります。ですが、どんな個性を持っていてもあなたは誰かに大切に思われているということを忘れないでください。

私は通っている中学校の生徒会副会長です。副会長になって間もなく、部活の仲間が「もっと副会長と仲良くなっておこう！」と言ってきました。私にはもう“副会長”という肩書と様々な偏見がありました。たとえば、“怖い”とか“真面目”などの偏見です。私は、“副会長”と仲良くなるんじゃなくて、“私自身”と仲良くなってほしいと思います。なぜなら私だって普通の人間だからです。“副会長”という肩書を背負っただけの普通の人だから、みんなと同じように接してほしいのです。でも、それは贅沢なのでしょうか？副会長になれたんだからそんなこと望んじゃいけないのでしょうか？私はきっと、そうじゃないと思います。だって人は、立場や肩書に関係なく平等に思われる資格があると思うからです。女の人にも男の人にも赤ちゃんにもお年寄りの人にも障害を持っている人にも思われる資格は平等にあるのです。例え誰かにいじめられている人でもその人を大切に思ってくれている人がいるということを知っていてほしいです。あなたがもし、クラスメイトに無視され悪口を言われてたらどうでしょう。あなたは家に帰ってもずっと悲しい気持ちを背負ったままですか？きっと違うと思います。あなたを心配してくれる両親や兄弟の優しさや愛は感じていると思います。悲しみが全て消えるわけじゃありませんが、自分を思ってくれている人がいるということを知るだけでずいぶん心が軽くなると思います。

だけど中には自分の辛い気持ちや状況を両親に知られるのが嫌だという人もいます。どうせ自分の気持ちなんて分かってくれない、なんて思ってしまいますよね。ですが、よく考えてみてください。あなたは大切な人に隠し事をされていた時、どう思いますか。その隠していることがその人を辛い気持ちにさせているとしたら言ってほしいと思いますよね。自分が何か役に立てるのなら、頼ってほしいと思いますよね。いいんです頼って。逆に頼らなきゃ相手を悲しませることになるのではないですか？自分の悲しみは相手の悲しみにもなるということを忘れないでほしいです。相手を頼ることは相手を悲しませないように“思うこと”だと思ふのです。そして、誰かに大切に思われている人は人を大切に思うことができるのです。

そもそも、人の心を辛くさせるいじめというのはなぜ起こるのでしょうか。いじめは人が人の長所を妬んだり、もしくは短所を煩わしく思うことがあるから起こるのでしょうか。みんなが同じ容姿で同じ性格で同じ考えを持っていたらいじめは起こらないのでしょうか。そんなことはこの世の中にはあり得ません。人には人の個性があるのです。長所を持ち短所も持っています。時々、自分にはないものが人にあると羨ましく思ってしまうことがあります。そういう気持ちを持つことは悪いことではないと思います。ですが、そのことと人をいじめることは違うと思います。だって自分にも、長所と短所があるのですから。人には人をいじめる権利なんてないと、私は思います。

生まれも育ちも姿も形も男も女もそれぞれな私たち。みんなちがってみんないい。同じだったらおもしろくない。他人に合わせる必要なんてないんです。あなたはあなたのままでいい。

これから私は、偏見や肩書きにとらわれず人と接していきたいと思います。少し難しいと思いますが、ちゃんと“その人自身”を見てあげたいと思います。そして、私もありのままの自分で生きたいと思います。